

## 普及活動情勢報告（令和5年6月分）

高吾農業改良普及所

### 高糖度トマト生産者の経営目標達成に向けて ～経営面談を実施～



女性経営者と面談中の様子

普及所では5月15日から6月5日にかけて促成高糖度トマト生産者（18名）を対象に、経営面談を実施しました。

生産者が前年度にたてた経営目標や出荷量について、青色申告決算書や出荷実績のデータをもとに達成度を確認し、問題点については助言指導も同時に行い、今年度の経営目標を設定しました。

生産者からは「コナジラミの発生があった、防除の徹底を行う」「今後ハウスの修繕が必要となるので、減価償却の積み立てを行う。」などの話がありました。

普及所では、継続して巡回や勉強会を実施し、生産者が目標を達成できるよう支援していきます。

### ニラ生産者の収量と秀品率向上を目指して ～個別面談を実施～



個別面談中の様子

普及所は5月23日と30日、31日にJA高知県コスモスニラ生産部のハウスニラ生産者11名を対象に、個別面談を実施しました。

生産者の過去3年分の収量と秀品率のデータをもとに、各農家の課題や今年度の目標、また現在の労働力等について聞き取りました。

生産者からは「毎年この時期はネギアザミウマが増加する」「今年は昨年を上回る収量を目標にする」などの話がありました。

普及所では、継続して個別面談や巡回を行い、生産者が目標を達成できるよう支援していきます。

### イチゴの生産安定に向けて ～現地巡回およびイチゴだよりの配布～



育苗ほ場での活動の様子

普及所は、6月5日、JA高知県佐川支所苺部会の生産者13名の育苗ほ場を巡回し、育苗期のかん水方法や摘葉方法について指導を行いました。

併せて、梅雨時期から発生が見られる炭そ病と萎黄病の対策について記載したイチゴだよりを配布し、病気の早期対策を呼びかけました。

生産者からは、「降雨前後の薬剤散布を心がける」「感染株を早期に除去する」といった話があり、病害対策についての関心が高まりました。

普及所では、今後も巡回や栽培講習会で情報提供を行うなど、イチゴの生産安定に取り組んでいきます。